

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成27年3月9日（月）～平成27年3月15日（日）〔第11週〕の感染症発生状況

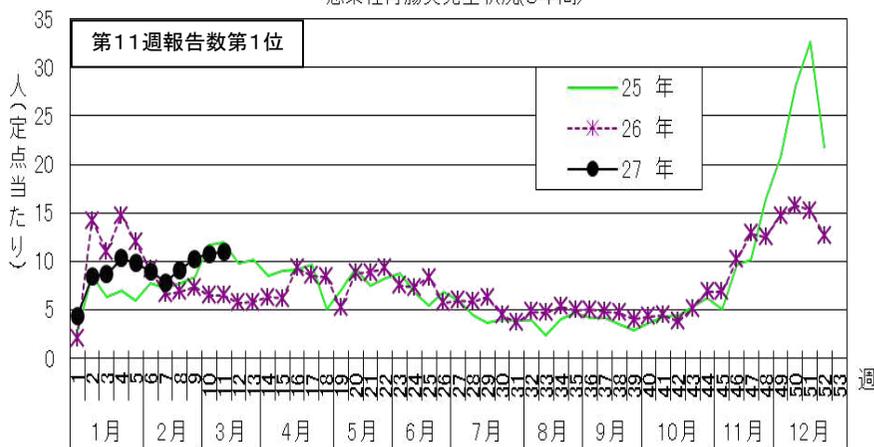
第11週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) インフルエンザでした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は10.94人と前週（10.79人）からほぼ横ばいで、例年とほぼ同じレベルで推移しています。

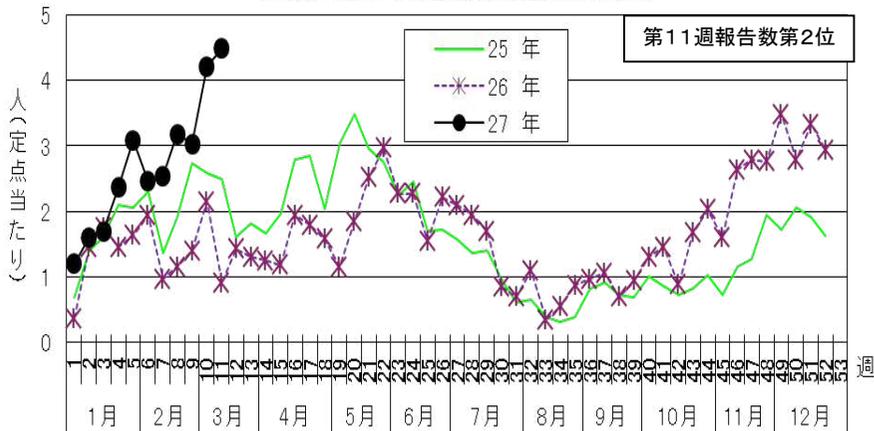
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は4.48人と前週（4.21人）からほぼ横ばいですが、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



## 春先にかけて要注意！～ロタウイルス胃腸炎～

例年、3月から5月にかけて、乳幼児を中心に「ロタウイルス」を原因とする胃腸炎が流行します。ロタウイルスは非常に感染力が強く、10～100個のウイルスが口から入るだけで感染します。

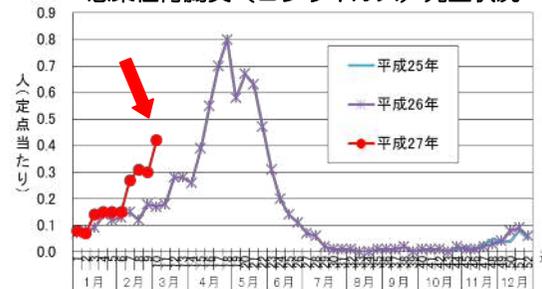
日本では、2種類のロタウイルスワクチンが承認されており、いずれも生後6週から接種（任意接種）を受けることができます。

### 感染するとどんな症状が出るの？

2～4日の潜伏期間の後、水のような下痢や嘔吐（おうと）が繰り返し起こります。重い脱水症状が数日間続くこともあり、合併症として、けいれん、脳症などに注意が必要です。

意識の低下やけいれん等の症状が見られたら、速やかに医療機関を受診しましょう。

全国の基幹定点病院における感染性胃腸炎（ロタウイルス）発生状況



### ロタウイルスの予防接種（任意接種）

**接種対象：**いずれのワクチン（1価と5価）も乳児が対象

**接種期間：**1価ワクチン…生後6～24週間に2回接種

5価ワクチン…生後6～32週間に3回接種

※1回目の接種については生後14週6日までが推奨されています。

ワクチンに関する詳細については、かかりつけの医療機関にご相談ください。

